

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 1日

宮崎市長 清山 知憲 殿



提出者

住 所 宮崎市阿波岐原町前浜4276-918

氏 名 株式会社 ダイニチ開発

代表取締役 川越 昌一郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

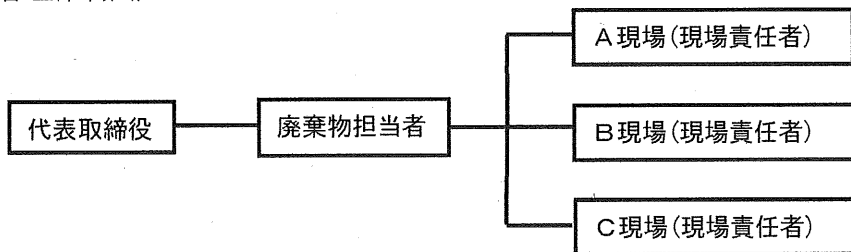
電話番号 0985-27-2535

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 ダイニチ開発
事業場の所在地	宮崎市阿波岐原町前浜4276-918
計画期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	元請完成工事高 (前年度実績) 987,700,000円
③ 従業員数	36名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・ 廃プラスチック類→自ら最終埋立処分 (安定型)・ 木くず→中間処理委託 (破碎) →再資源化 (燃料チップ)・ 建設汚泥→最終処分委託 (管理型)・ コンクリート塊→自ら中間処理 (破碎) →再資源化 (再生砕石)・ アスファルト塊→中間処理委託 (破碎) →再資源化 (再生アスファルト)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】（別紙のとおり）	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	
	（これまでに実施した取組） ・ 廃プラスチック類は、自ら最終埋立処分（安定型）した。 ・ コンクリート塊は、自ら中間処理後、再生砕石として再利用した。 ・ アスファルト塊は、中間処理後再資源化を行う業者に委託し、再資源化を図った。 ・ 現場への梱包材搬入を抑制した。 ・ 分別の抑制を行った。	
②計画	【目標】（別紙のとおり）	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	
	（今後実施する予定の取組） ・ 廃プラスチック類は、自ら最終埋立処分（安定型）する。 ・ コンクリート塊は、前年同様自ら中間処理後、再資源化を図る。 ・ アスファルト塊は、中間処理後再資源化を行う業者に委託し再資源化を図る。 ・ 現場への梱包材搬入を抑制する。 ・ 分別の徹底を行う。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 種類：建設混合廃棄物 取組：各現場毎に処分地に搬入し処分した。 コンテナBOXを配置しそれに入れた。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 種類：建設混合廃棄物 取組：分別不良や保管状況が徹底されていない現場は、分別指導員を配置し、改善に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組) 該当なし。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組) 該当なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】（別紙のとおり）	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 種類：廃プラスチック類 取組：自社所有の安定型最終処分場で埋立を行った。	
② 計画	【目標】（別紙のとおり）	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 前年と同様の処理を行う。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】（別紙のとおり）	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組) ・廃プラスチック類は、自ら最終埋立処分（安定型）した。 ・コンクリート塊は、自ら中間処理後、再生砕石として再利用した。 ・アスファルト塊は、中間処理後再資源化を行う業者に委託し、再資源化を図った。	

② 計画	【目標】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック類は自ら最終埋立処分（安定型）する。 ・コンクリート塊は、前年同様自ら中間処理後、再資源化を図る。 ・アスファルト塊は、中間処理後再資源化を行う業者に委託し再資源化を図る。 	
※事務処理欄		

産業廃棄物処理計画書 集計表

(別紙)

単位：t

産業廃棄物の種類		7A7A11ト塊	コンクリート塊	廃プラ	木くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状 (4年度実績)	排出量	2,171	721	522	282	1	59	3,756
②計画 (5年度目標)	排出量	2,100	600	500	200	1	50	3,451
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状 (4年度実績)	自ら再生利用を行った量	425	721					1,146
②計画 (5年度目標)	自ら再生利用を行う量	400	600					1,000
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状 (4年度実績)	自ら熱回収を行った量							0
	自ら中間処理により減量した量							0
②計画 (5年度目標)	自ら熱回収を行う量							0
	自ら中間処理により減量する量							0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項								
①現状 (4年度実績)	自ら埋立処分を行った量			522				522
②計画 (5年度目標)	自ら埋立処分を行う量			500				500
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状 (4年度実績)	全処理委託量	1,746			282	1	59	2,088
	内訳							0
	優良認定処理業者へ処理を委託した量							
	再生利用業者へ処理を委託した量	1,746			282			2,028
	認定熱回収業者へ処理を委託した量							0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量							0
②計画 (5年度目標)	全処理委託量	1,700			200	1	50	1,951
	内訳							0
	優良認定処理業者へ処理を委託する量							
	再生利用業者へ処理を委託する量	1,700			200			1,900
	認定熱回収業者へ処理を委託する量							0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量							0